

【NEWS RELEASE】

2021年11月30日

各位

株式会社三井住友銀行

上新電機株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、上新電機株式会社（代表取締役兼社長執行役員：金谷 隆平）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の上新電機株式会社に対する評価結果は、「事業活動における気候変動の取組」、「顧客に対する誠実さ」、「企業理念・サステナビリティへのコミットメント」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において大変優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献が期待できるとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

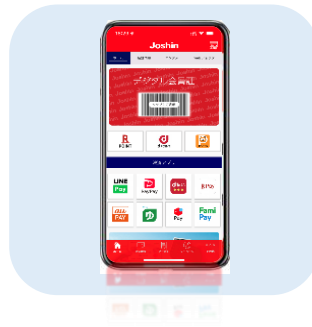
- ① サプライチェーン全体でのCO2排出量の把握を推進し、省エネおよび再エネ導入の取組を強化しておられるほか、環境配慮型商品への買替およびリユース商品への再生によるCO2削減量を評価し、環境配慮に関する豊富な情報を顧客に提供しておられる点
- ② 顧客の安心・安全確保を重視した「まごころサービス」の充実を、デジタル技術を用いた顧客接点強化等により実施しているほか、多様な人材の活躍推進の取組を強化しておられる点
- ③ 本業を通じてSDGsに貢献していく姿勢を明確にし、それを支える仕組として環境・社会面を含むリスクについて独自の評価基準を設定しておられるほか、長期ビジョンの策定に向けてサステナビリティ推進体制を強化しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標 12：つくる責任 つかう責任」「目標 13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた明確な意欲をお持ちです。

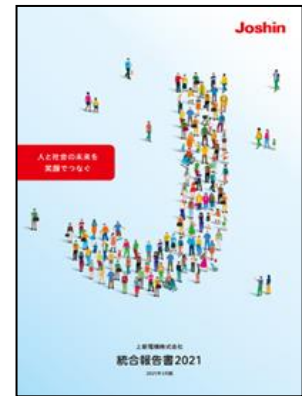
三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



太陽光発電システム設置の
店舗（Joshin 茨木店）



スマートフォン用アプリ
「ジョーシンアプリ」



上新電機株式会社
統合報告書 2021 年度版

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことで

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。